

令和2年度介護福祉研究センター事業報告書

I. 会議関係

1. 運営委員会

1) 第1回 令和2年4月15日(木)

- 〔議事内容〕・運営委員会の開催日時
・センター事業担当者の確認
・新型コロナウイルス対策について
・研究員の継続状況
・前期センター会議及び介護福祉セミナー
・定例研究会
・センター紀要「介護・福祉研究」第7号についておよび第6号の配布状況
・高校生等見学バスツアー
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動

2) 第2回 令和2年5月29日(木)

- 〔議事内容〕・新型コロナウイルス対策による事業の見直し
・定例研究会
・前期センター会議及び介護福祉セミナー
・新規研究員の推薦
・高校生等見学バスツアー
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動
・三重県文化会館との連携成果物について

3) 第3回 令和2年6月24日(水)

- 〔議事内容〕・定例研究会
・センター紀要「介護・福祉研究」第7号
・高校生等見学バスツアー
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動
・「ふれんどえいむ」の啓発

4) 第4回 令和2年7月22日(木)

- 〔議事内容〕・高校生等見学バスツアー
・センター紀要「介護・福祉研究」第7号
・介護作文コンクール(目的、役割分担)
・定例研究会
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動

5) 第5回 令和2年8月17日(月)

- 〔議事内容〕・「介護・福祉研究」第7号の執筆者の決定
・高校生等見学バスツアー最終打ち合わせ
・運営委員会の開催日時

6) 第6回 令和2年9月30日(水)

- 〔議事内容〕・定例研究会
・第2回介護福祉セミナー
・後期センター会議
・介護作文コンクール(実施要領作成)
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動

7) 第7回 令和2年10月20日(火)

- 〔議事内容〕・定例研究会
・第2回介護福祉セミナー
・後期センター会議
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動
・新規研究員の推薦
・介護作文コンクール(後援団体依頼)

8) 第8回 令和元年11月17日(火)

- 〔議事内容〕・後期センター会議(資料作成担当)
・第2回介護福祉セミナー(当日役割)
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動
・定例研究会
・介護作文コンクール(ちらし配布、報道記者発表)

9) 第9回 令和2年12月8日(火)

- 〔議事内容〕・後期センター会議最終確認
・第2回介護福祉セミナー最終確認
・定例研究会
・介護作文コンクール進捗状況

10) 第10回 令和3年1月19日(火)

- 〔議事内容〕・介護作文コンクール審査等
・定例研究会
・「介護・福祉研究」第7号

11) 第11回 令和3年2月9日(火)

〔議事内容〕・介護作文コンクール審査・表彰式 ・「介護・福祉研究」第7号

12) 第12回 令和3年3月16日(火)

〔議事内容〕・介護作文コンクール文集作成 ・「介護・福祉研究」第7号
・令和3年度介護福祉セミナー ・新規研究員の承認

2. センター会議

1) 前期センター会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面にて承認

- ・令和元年度事業報告(案)
- ・令和2年度事業計画(案)

2) 後期センター会議 令和2年12月15日(火)

於) 介護福祉研究センター

- ・令和2年度事業経過報告(案)
 - ・令和3年度事業計画(案)
 - ・令和3年度予算要求(案)
 - ・新規研究員の紹介 世古口 正臣(本学非常勤講師)
山下 千晶(学識経験者) 坂 和香(本学卒業生)
- 12月時点在籍研究員数: 44名

II. 研究活動

1. 定例研究会

介護福祉研究センターでは、地域の福祉施設等の関係者や介護福祉関係で活動していただいている方々、卒業生を研究員に招き、2021年3月現在45名の研究員が在籍しています。毎月一回の定例研究会を開催(今年度は7月より再開)し各分野の情報交換を行い、地域に還元できるよう学びあっています。

場所は、原則介護福祉研究センターまたは介護実習室で行っています。

1) 第38回定例研究会 7月16日(木) 17:00~19:00 参加者 12名

- ・テーマ「高齢者見守り事業～そよ風～実践報告」
- ・発表者: 城田 裕子研究員
- ・内容: 本学保育科卒業生(8期)でもある城田研究員のこれまでに取り組んできた実践を紹介していただきました。

グループホームで認知症高齢者を支援していたころの取り組みとしては、利用者の「お伊勢参りをしたい」というニーズから、バス旅行を企画し、実行するまでの資金集めや業者探しの工夫や実践、旅行前から当日までの利用者の様子などをエピソードを交えてお話いただきました。

地域との関わりについては、空き家を利用した「そよ風カフェ」について、立ち上げから地域との交流を目的とした様々な行事までご説明いただきました。地域の高齢者だけでなく、子どもたちが集まるイベントも企画、開催しており、そよ風カフェの活動を介して世代間の交流やさらなる活動の広がりが生まれていることを教えていただきました。



城田研究員の発表の様子

冒頭の自己紹介で、本学在学中に仲間と連帯し、よりよい学生生活を実現するために行動したエピソードをお話しいただきましたが、その後の実践も常にその頃の経験が礎になっていることがうかがえる実践報告でした。

2) 第39回定例研究会 9月11日(金) 17:00~19:00 参加者 12名

- ・テーマ「介護との出会いの中で学ばせて頂いた事」
- ・発表者：相楽 美津研究員
- ・内容：介護との出会いから今日に至るまでの30年間をふり返ってお話しいただきました。

40歳台後半に介護を学ぶために入学した学校における現場実習で実際の介護と出会ったことが相楽研究員の介護に対する考え方の根本を作り上げたこと、卒業後の介護老人保健施設における職員時代には一人ひとりの利用者に合わせた介護のあり方を創意工夫し、その成果に手ごたえを感じたこと、さらに母校の教員として後進の育成にあたったことなどを



をお話しいただきました。教員時代にはオーストラリアの高齢者入所施設を訪問し、寝たきりが日本だけのことであることを学び、オーストラリアにおける利用者一人ひとりの生き方を大切にした介護に刺激を受けたというエピソードもうかがいました。

教員を退職した後も介護の現場と関わり、さらに、ご自身が後期高齢者になったことから改めて気づいたこと、感じたことも、これまでの学びと照らし合わせてお話しいただきました。誰もが必ず老いるなかで、どのように生きるのか、どのような介護を求めるのか、どのように介護するのか考える機会となりました。

3) 第40回定例研究会 10月23日(金) 17:00~18:30 参加者 11名

- ・テーマ「介護職を目指す留学生のためのコンピューターリテラシー」
- ・発表者：川喜田 多佳子研究員、寺家 尚美研究員
- ・内容：介護福祉コースに在籍する留学生を対象とした情報基礎演習という科目の取り組み

についてお話しいただきました。留学生の入学者が年々増加している現在、授業内容も将来彼らが介護の現場で働くことを見据え、日本についての理解を深めることができる実践的なテーマを選ぶなど、留学生の問題点を考慮しつつ日本人学生たちとの異文化交流や、協働意識の向上につながる授業展開の取り組みなどの工夫をご紹介いただきました。またコロナ対策のため授業内容を大幅に変更し、本学の遠隔学習支援システムmanabaと連携してYouTubeで動画を在学生限定で配信するなど、新しい取り組みとその結果についてもお話しいただきました。



問題点だけでなく留学生たちの個性や努力の様子も知ることが出来、来年度のカリキュラムについても日本人学生と留学生、それぞれへの対応と課題について考える機会となりました。

4) 第41回定例研究会 11月6日(金) 16:20~18:20

参加者 介護福祉コース1・2年生 52名 研究員 10名

・テーマ「施設従事者による虐待とその防止～第3委員の検証作業から見てきたもの～」

・発表者：市川 知律氏(有限会社With A Will市川社会福祉士事務所取締役)

・内 容：三重県高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム 副委員長の市川 知律先生に上記テーマでお話していただきました。事例からどのようなケースが虐待と判断されるのか、虐待防止法の目的、介護現場の声など様々な視点から虐待が起こる背景や「権利を守る」という事はどういう事なのかを考える機会となりました。施設運営側、管理者、職員、虐待してしまう側、それぞれの事情と視点を考え事業所全体で話し合い、対応していくことが虐待の再発防止につながることに。利用者の気持ちを聞かず日々のノルマをこなすことにとらわれていないか、事業所だけでなく私たちも夢と希望をもって入ってきた人の気持ちをつぶしていないか、あらためて見つめなおすことの大切さを教えていただきました。貴重な機会ということで、本校の介護福祉コースの学生たちも聴講させていただきました。今後の講義の中でも、より深く考える指導につなげていきたいと思っています。



5) 第42回定例研究会 令和3年1月19日(火) 17:00～18:30 参加者11名

・テーマ「能動的学修を取り入れた授業実践～高齢者虐待防止についてディベートを通じた討論の展開～及び、留学生の増加に伴う課題」

・発表者：中川 千代研究員

・内 容：中川センター長よりディベートを通じた能動的学修（アクティブ・ラーニング）を行った授業について、その成果と課題を報告いただきました。

受講した学生からは、日常人間関係に気を遣って議論をする機会の少ないことから、役割を決めて討論できるディベートは非常に新鮮で、積極的に授業に参加することができたという回答が多く寄せられていました。

一方で近年、アジア圏から多くの留学生が介護福祉コースに入学しており、日本語能力をはじめ文化や生活習慣の違いからこれまでのような授業運営が難しくなっているという課題が示されました。これらの留学生に対しては、授業担当教員だけでなく様々な支援者による重層的な関わりにより、学びを深める取り組みをしていく必要があることが確認されました。その後の質疑応答では外国人留学生の日本語習得の問題や、介護人材確保の問題などについて意見の交換がおこなわれました。



6) 第43回定例研究会 令和3年2月9日(火) 17:00～18:30 参加者 10名

・テーマ：「特定施設入居者生活介護施設『虹の夢津』について」

・発表者：萩野 智美研究員、堀山 絢加（萩野研究員の同僚）

・内 容：本学卒業生の萩野 智美研究員と、同僚の堀山 絢加さんにより現在働いている施設についての紹介と今後の展望について発表していただきました。就労支援施設を併設することで障害を持つ方も自分の得意分野を活かす就労で自分の役割を果たし、その分介護職員は利用者と触れ合う業務に集中できるという共生スタイルや、コロナ対策を行いながらも毎日の生活の思い出作りに対して、介護職員だけでなく施設全体で取り組む姿勢などを、いきいきとした利用者さんたちの生活風景と共に紹介していただきました。また、YouTubeへの動画で

介護の楽しさについてPRする活動についてもご紹介いただきました。「介護のイメージをも



っとポジティブな要素で伝えたい」とY o u T u b eやインスタグラムを活用して、若者がより若い人へ伝えようという姿勢、よりよいものを伝えたいというエネルギーを感じたと受講者の方たちからも非常に好評でした。堀山さんは「おちゃのまみこち」という番組名でY o u T u b eにたくさん介護についての楽しい動画をアップしていっています。機会がありましたらぜひご試聴ください。

Ⅲ. 実施事業

1. 介護福祉セミナー

1) 第1回介護福祉セミナー

令和2年6月27日(土) 13:30~15:30

テーマ「牛乳パックを使った服薬用手作り自助具」

講師：永田 穰（一般社団法人三重県作業療法士会監事）

※新型コロナウイルス対策のため無期延期となりました。来年度には再度計画したいです。

2) 第2回介護福祉セミナー

令和2年12月12日(土) 13:30~15:30

参加者17名（一般、介護福祉施設職員、研究員等）

テーマ「筋膜リリース～肩こり解消と小顔効果～」

講師：高山 文博研究員

※実際に自分の腕や頭・顔を動かしたり触れたりしながら、筋膜をリリースする必要性、気持ちよさ、ポイントなどを具体的に学びました。



2. 白子公民館の高齢者と学生の交流サロン事業

1) 第1回（通算第29回）

令和2年9月19日(土) 10:30~12:00

参加者：高齢者10名、学生ボランティア10名、

中川千代研究員、服部優子研究員、伊藤利美研究員、相楽美津研究員

内容：「いつでも夢を」の歌に合わせた簡単な体操、ネパールの概要について学習自己紹介、名前送りゲーム



2) 第2回（通算第30回）

令和2年10月24日（土）10:30～11:30

参加者：高齢者8名、学生ボランティア5名

中川千代研究員、服部優子研究員、伊藤利美研究員、相楽美津研究員

内 容：「いつでも夢を」の歌に合わせた簡単な体操、グループ対抗〇×クイズ大会

※いままで考えたことのないようなクイズで興味深く、ぜひ他の人にも教えてあげたいという感想をいただき、クイズの問題と解答を提供しました。



3) 第3回（通算第31回）

令和2年11月21日（土）10:30～11:30

参加者：高齢者7名、学生ボランティア5名

中川千代研究員、服部優子研究員、伊藤利美研究員、相楽美津研究員

内 容：グループ対抗「人間すごろく」大会

※頭も身体も使いよく動いて時間が過ぎるのが早く感じとても楽しかったという感想をいただきました。



4) 第4回、第5回は令和2年12月、令和3年1月に予定され直前まで準備しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

※白子公民館館長から学生4名に感謝状が贈られました。

3. 高校生等を対象とした介護啓発事業

1) 介護見学バスツアー 8月22日（土）10:00～13:00

見学先：特別養護老人ホーム報徳園

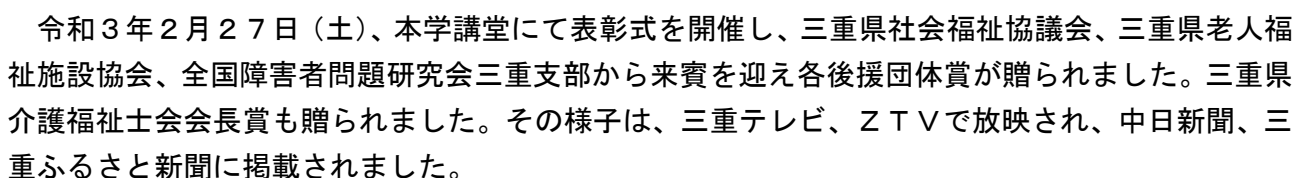
内 容：施設概要紹介、施設利用者との交流、食形態の異なるメニュー試食体験



千草園長より施設の概要説明

※入賞者は、介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第7号に掲載予定

また、12月14日には、FMみえ「ポミー（ピックアップオン三重）」の番組内で清田のぞみアナウンサーに約3分間内容を紹介いただきました。

[illegible]

V. 研究成果の発行

1. 介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第7号（令和3年3月発行）

執筆希望書を編集委員会で協議し執筆者を決定しました。研究論文2編、調査報告1編、実践報告1編、授業実践報告1編に原稿依頼しました。

「介護のみらいを考えよう」作文コンクールの最優秀賞・優秀賞を6作品掲載しました。



VI. 学生ボランティアの組織化「ふれんど えいむ」登録者募集事業

本センターの事業（特に地域貢献）等にボランティアとして参加してくれる学生を募り、意識付けを図るため、登録会員証（名刺サイズ）の発行を行いました。

今年度の登録者数：27名

※「ふれんど えいむ」に登録した学生と実際の活動をしてくれる学生がリンクしない傾向にあるため意識付けができていないのかどうか、また留学生の増加が課題です。



学生に発行した登録会員証のフォーム

VII. 三重県文化会館との連携事業

「介護を楽しむ、明るく老いるアートプロジェクト2017-2019のあゆみ」の冊子が令和2年3月末付で発行され、本研究センターにおける取り組みも掲載されました。

本学の令和2年度高校訪問時に高等学校等に配布し広報しました。



三重県文化会館発行の冊子表紙および掲載ページ

